

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-198	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

## 1.編修の基本方針

### ①生涯にわたり必要な言語能力を身につけるとともに、さまざまな文学的文章への理解を深める。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標と、教材ごとに学習する主な目標を示しました。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・近代以降の文学的文章のうち、「随筆」「小説」「詩」「短歌」「俳句」を取り上げ、文学的文章への理解を深めることができましたようにしました。
- ・古典における文学的文章を掲載し、古典文学の多様な世界に触れ、古人のものの見方や感じ方、考え方を知り、自己の内面を見つめ、考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。
- ・Ⅰ部・Ⅱ部に3か所ずつ「書くこと」の言語活動教材を設け、「書く」「読む」の学習がバランスよく行えるようにしました。
- ・教材の内容やテーマに関係するコラム「文学の窓」や、作者・作品に関連する資料や解説を示したコラム「参考」などを設け、文学に関わるさまざまな知識を身につけられるようにしました。

### ②共感したり想像したりする力や、創造的な思考力、伝え合う力、思いや考えを広げ深める力を高める。

- ・展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、作者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- ・書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉えたり、表現を味わったり、また文章を批評的に読むことによって、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりできるよう、いくつかの教材末に「言語活動」などの項目を用意しました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、読み取ったことを伝え合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書くこと」「読むこと」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・附録に、「書くこと」「読むこと」の学習を見通したり振り返ったりすることができる「この教科書で学ぶこと」を設けました。

### ③進んで読書に親しみ、言葉が持つ価値への認識を深め、人生を豊かにする態度を育てる。

- ・生徒の読書意識を喚起し、読書の幅を広げられるよう、「ブックガイド」を設け、日本や世界の近現代文学作品や、日本の古典文学に関わるさまざまな図書を紹介しました。
- ・本や読書に対する関心を高めたり、本や読書について考えたりするため、本や読書に関連する随筆「雨月物語」(Ⅰ部「1随筆1」)、「書かれた風景の中へ」(Ⅱ部「1随筆1」)、「ほんとうはあのとき……」(Ⅱ部「6随筆2」)を掲載しました。

## 2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
I部	1 随筆1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を大切にしながら社会生活を送る人物との関わりを描いた随筆を用意しました。(第1号)</li> <li>・上田秋成の『雨月物語』や小泉八雲の『怪談』などの我が国の伝統的な物語を題材として、それらに対して幼年期の筆者が感じた魅力について述べる随筆を用意しました。(第1号)</li> <li>・表現したいことを適切に伝えるための言葉を考える活動を通して、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号)</li> </ul>	<p>→8～14ページ</p> <p>→15～19ページ</p> <p>→20ページ</p>
	2 小説1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球団のキャプテンの当時と大人になった今を浮かび上がらせ、人を信じることの意味について問いかける小説を用意しました。(第3号)</li> <li>・芥川龍之介「蜘蛛の糸」を翻案し、善と悪や罪業と改心などについて考えることができる小説を用意しました。(第1号)</li> </ul>	<p>→22～37ページ</p> <p>→38～46ページ</p>
	3 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「竹」、「永訣の朝」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→50～63ページ
	4 小説2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉鎖的で絶望的な状況における悲しみや孤独感を寓意的に描き、他者との関わりによって、その孤独な魂が僅かに慰められる小説を用意しました。(第3号)</li> <li>・沖縄戦において、負傷者たちへの献身を貫いて亡くなった看護師の姿を通じて、平和について考える小説を用意しました。(第5号)</li> </ul>	<p>→68～81ページ</p> <p>→82～105ページ</p>
	5 古典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号)</li> <li>・自然や人為に対する作者の的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号)</li> <li>・和歌の修辞について理解し、表現を工夫して短歌を作る活動を通して、伝統と文化を尊重するとともに、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号)(第3号)</li> <li>・人口に膾炙した故事成語の典拠となる教材を用意しました。(第1号)</li> <li>・日本と中国との関わりについて考えるきっかけとなるコラムを用意しました。(第5号)</li> </ul>	<p>→108～111ページ</p> <p>→112～113ページ</p> <p>→114～117ページ</p> <p>→118～121ページ</p> <p>→122ページ</p>
	6 小説3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越し先の町での主人公と隣人たちとの心地よい距離感の中での交流を通して、現代社会における人間関係の在り方を描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号)</li> <li>・コンビニエンスストアの店員と客の関係を通して、複層的に成り立っている社会の在り方を描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号)</li> </ul>	<p>→124～133ページ</p> <p>→134～140ページ</p>
	7 随筆2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼年期の身体感覚と、「大人の世界」において流通する情報との乖離について述べた随筆を用意しました。(第1号)</li> <li>・詩歌を知り、覚えるということが、生きていくために自らの気持ちを保つための言葉を確保することにつながると述べた随筆を用意しました。(第1号)</li> <li>・読み手の関心が得られるよう工夫して、情景を言葉で描写する活動を通して、創造的な思考力を高め、伝え合う力を養う教材を用意しました。(第2号)</li> </ul>	<p>→142～149ページ</p> <p>→150～156ページ</p> <p>→157～160ページ</p>
	8 小説4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お嬢さん」をめぐる出来事によって変化する「先生」や「K」の心情を、「先生」の視点から描いた小説を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→162～196ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Ⅱ部	1 随筆1	・用いられる言語によって、見える世界や自らの感じ方が変わることについて述べた随筆を用意しました。(第5号)	→198～208ページ
		・英語を母語として育った筆者による、『万葉集』『古寺巡礼』の読書体験と、山辺の道での旅行体験が述べられた随筆を用意しました。(第4号)(第5号)	→209～215ページ
		・相手を決めて近況を報告する手紙を書く活動を通して、身の回りの出来事を表現する力を養う教材を用意しました。(第2号)	→216ページ
	2 小説1	・人間が虎に変身するという特異な状況の中での、主人公の内面と苦悩について描いた小説を用意しました。(第1号)	→218～233ページ
		・擬人化された「短編小説」との会話から、小説はどのようなものかということや、小説を読むことはどのようなことかを描いた小説を用意しました。(第2号)	→234～239ページ
	3 詩歌	・「帰途」、「小諸なる古城のほどり」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・俳句を用意しました。(第1号)	→242～251ページ
	4 小説2	・自分の意志で鞆を持っているつもりで、実は鞆に制御される青年や「私」を描くことで、負荷を欲し、拘束されることに安堵さえ覚える現代人の姿を風刺した小説を用意しました。(第2号)	→256～263ページ
		・結婚前後での朝の時間の過ごし方の変化から、なくすことで好きになるものについて語られた小説を用意しました。(第2号)	→264～273ページ
	5 古典	・日本の伝統的な文化を描いた作品を通して、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→276～277ページ
		・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第3号)	→278～281ページ
・世界文学の一つである『源氏物語』のさまざまな現代語訳を通して、我が国の伝統と文化を尊重するとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養う教材を用意しました。(第5号)		→282～283ページ	
・和歌や歌謡を解釈し、解釈した内容をもとに物語を作る活動を通して、伝統と文化を尊重するとともに、創造的な思考力を養う教材を用意しました。(第2号)(第3号)		→284～287ページ	
・名勝や季節の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号)		→288～289ページ	
6 随筆2	・ジェンダーや性についての自身の認識と一人称との関係について述べた随筆を用意しました。(第3号)	→294～301ページ	
	・人間関係の中の「余白」の大切さについて述べた随筆を用意しました。(第1号)	→302～311ページ	
	・一年間を振り返り、思い出深い出来事を文章にしてクラスで共有し、文集を作る活動を通して、伝え合う力を養う教材を設けました。(第2号)	→312～314ページ	
7 小説3	・姉妹の嘘と、その嘘が現実になったかのような不思議な出来事を通して、人間の心の奥深さを描いた小説を用意しました。(第1号)	→316～331ページ	
	・父の胸のへこみを巡るエピソードを通して、家族との記憶や別れの悲しみを静かに描いた小説を用意しました。(第2号)(第3号)	→332～347ページ	

### 3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、「ブックガイド」を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-198	高等学校	国語	文学国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

## 1.編修上特に意を用いた点や特色

### ①目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の2事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

### ②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「本文に出る漢字」の関連語句や「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学ぶことができるようにしました。
- ・「随筆」「小説」「詩」「短歌」「俳句」などの多様な種類の近代以降の文学的文章を掲載し、文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができるようにしました。
- ・「説話」「随筆」「歌物語」「作り物語」「漢詩」「史伝」などの古典における多様な文学的文章を掲載し、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができるようにしました。
- ・「修辞を用いて短歌を作ろう」「情景を言葉で描写しよう」などの言語活動を設け、修辞などの表現の技法や文学的文章における文体の特徴を理解し使うことができるようにしました。
- ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書へのいざないとして、合計3か所に「ブックガイド」を設け、日本や海外の近現代文学や、古典に関する書籍などを紹介しました。

### ③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

・物語や短歌を創作したり、書いた文章や創作した作品を読み合ったりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

### ④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・読解教材に関連して言語活動を行うことができるよう、教材末に適宜「言語活動」の項目を設けました。

## 2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
<b>I 部</b>									
1 随筆1	山さん	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	8		3	3	1 学期 22
	雨月物語	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	15		3	3	
	【言語活動】言葉で表現しよう	(1)ア、イ	(1)ア		20	3		3	
2 小説1	ナイン	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	22		4	4	
	新釈「蜘蛛の糸」	(1)ア、イ(2)ア、イ		(1)ア、オ、キ	38		3	3	
	【文学の窓1】ストーリーの「語られ方」	(1)エ		(1)イ	47				
3 詩歌	鉄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	50		1	1	
	竹	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	52		1	1	
	永訣の朝	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	54		2	2	
	硝子の駒－短歌抄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、ウ	60		2	2	
	ブックガイド1	(2)イ			64				
4 小説2	山椒魚	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	68		4	4	
	【文学の窓2】小説は誰のものか	(1)エ		(1)オ	106				
	沖縄の手記から	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	82				4
5 古典	小野篁、広才のこと	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	108		2	2	
	大江山の歌	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	110		2	2	
	枕草子	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	112		2	2	
	【言語活動】修辞を用いて短歌を作ろう	(1)ア、イ、ウ、エ(2)ア	(1)ウ(2)ア		114	6		6	
	小話一二編	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	118		3	3	
	【古典の窓1】漢文と古典落語	(1)ア、ウ			122				
6 小説3	隣人運	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	124		3	3	2 学期 28
	コンビニの母	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	134		2	2	
7 随筆2	光の窓	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	142		2	2	3 学期 20
	生きていくための呪文	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、オ	150		3	3	
	【言語活動】情景を言葉で描写しよう	(1)ア、イ、エ	(1)イ		157	6		6	
8 小説4	こころ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	162		9	9	

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時数			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
<b>Ⅱ部</b>									
1 随筆1	国語から旅立って	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	198		2	2	1 学期 23
	書かれた風景の中へ	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ、キ	209		3	3	
	【言語活動】近況を報告しよう	(1)ア、イ	(1)ア		216	3		3	
2 小説1	山月記	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	218		7	7	
	【文学の窓3】小説のオリジナリティー	(1)エ		(1)オ	240				
	窓	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	234		3	3	
3 詩歌	夏の姿	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	242		1	1	
	帰途	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	244		1	1	
	小諸なる古城のほとり	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	246		1	1	
	金剛の露—俳句抄	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、ウ	248				
	ブックガイド2	(2)イ			252		2	2	
4 小説2	鞆	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	256		3	3	
	【文学の窓4】不条理と文学	(1)エ		(1)ウ、キ	274				
	あの朝	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ	264		3	3	
5 古典	初冠	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	276		3	3	
	源氏物語	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	278		4	4	
	【古典の窓2】『源氏物語』—現代語訳の世界	(1)ア、ウ、エ、(2)ア、イ		(1)ウ	282				
	【言語活動】和歌や歌謡をもとに物語を作ろう	(1)ア、イ、ウ、エ(2)ア	(1)イ、ウ(2)ウ		284	6		6	
	漢詩一二首	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	288		3	3	
	四面楚歌	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、カ	290		4	4	
	ブックガイド3	(2)イ			292				
6 随筆2	空っぽの瓶	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	294		3	3	
	ほんとうはあのとき……	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、カ	302		4	4	
	【言語活動】思い出を文集にしよう	(1)ア、イ	(1)エ(2)エ		312	6		6	
7 小説3	葉桜と魔笛	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、エ	316		3	3	
	最後のドッジボール	(1)ア、イ(2)ア		(1)ア、イ、エ	332		5	5	
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						30	110	140	

# 常用漢字以外の使用漢字一覧表

(数字は初出ページを示す。)

(口絵)

③ 蜘蛛 訣 澤 椒 漱 靴 伊

(目次)

2 彦 芥 龍 之 鋏 萩 朔 鱒 3 篁 饅 絲 昌 4 敦 5 李  
楚

(本文)

9 玲 16 遙 17 茅 曠 惹 訖 18 侘 19 櫛 挽 20 噌 21 濠  
25 智 26 惣 34 灼 36 廈 樋 洒 40 蓮 滔 41 裔 42 迦 43  
牟 凱 51 躊 躊 53 犀 吠 54 蓴 椀 55 蒼 崗 56 雫 57 兜  
勒 菩薩 60 埴 曼 61 迢 塚 濡 荻 沁 62 蒔 63 虛 鍼 樺  
穰 64 吾 哉 鮐 辰 奢 65 姑 圭 67 寓 68 狼 狽 69 苔 70  
叢 71 遁 稗 楫 74 瘋 癲 蛙 75 淵 錫 76 牢 叱 79 鞭 撻  
82 祿 壕 伍 85 濘 86 膿 87 汞 炸 88 蛆 90 梱 92 珊瑚  
93 榴 96 鳴 97 呆 嘉 99 昏 104 摺 108 嗟 峨 聚 110 簾  
橘 琵琶 播 111 藹 112 舅 輔 113 櫃 欵 撥 廬 114 撰 庵  
115 祐 116 逢 117 敲 118 祠 其 卮 謂 曰 乃 119 劉 120  
肆 而 鬻 輒 仆 於 窺 矣 亟 此 忽 乎 臘 爾 汝 121 碗 肇  
澗 122 蟻 栗 厩 焚 喧 嘩 灌 126 蛾 133 寥 134 也 136 鮭  
138 訶 143 渾 144 函 蠟 146 飴 倦 147 謚 151 祇 155 齷  
158 薨 163 厭 鸞 166 襖 168 咀 嚼 崇 俸 170 冴 174 悄  
175 彷徨 176 讐 177 怯 179 梢 套 180 熾 182 悶 懊 185  
憐 186 隈 閤 廠 駿 靖 麴 苑 190 狡 猾 200 對 207 魯 212  
檉 櫃 弘 篠 柘 辻 毫 218 隴 穎 榜 狷 恃 號 臥 峭 炯 賤  
219 儁 快 悖 徽 杭 蘇 洛 嶺 浙 淮 渭 陝 鄱 220 袁 慘  
懼 221 峻 闊 222 愧 赧 223 茫 兔 224 誦 226 嗤 仍 227  
蓬 已 軺 嘯 嗥 228 倨 磋 琢 碌 慙 恚 229 巖 哮 230 慟  
哭 231 咆 232 譚 235 轟 237 汀 灘 鎧 238 艘 240 粥 聊

嘶 攪 241 址 242 蟬 243 覘 246 藜 萋 萌 藉 衾 霞 247 皐  
248 碧 梧 桐 曳 廻 咳 紐 249 嚙 楸 邨 鮫 鯁 杏 葱 雀  
250 櫨 茹 251 蒙 馥 郁 252 鷗 蒲 253 徘徊 254 阿 庇  
268 馴 愕 276 鷹 278 譏 憚 壺 寵 卿 279 屏 楊 溺 280 儲  
281 帖 283 宏 擱 284 梁 塵 霰 288 牀 攀 289 籬 晉 宋  
290 咸 沛 垓 291 騅 忼 兮 闕 莫 292 冲 蘭 陀 舜 邊 浩  
297 惚 343 醬

# 音訓一覽表

(数字は初出ページを示す。)

(口絵)

③ ガラス 硝子 与謝野晶子 じっきんせう ボトル 瓶

(目次)

2 昇 井上 登美彦 三角 萩原 井伏鱒二 4 又柔 英雄 小諸 安部 光代  
5 初冠 有里

(本文)

15 怪我 16 秋成 読本 17 哀しかったり 19 青嵐 道守 22 四ツ谷 英夫  
さだはる 貞治 25 四谷 小路 26 惣菜 大和屋 懐中 28 忠 30 練馬 34 市ヶ谷 36  
きり 吉里人 53 室生 57 変つて 聖い 資糧 60 少女 瓶 曼珠沙華 秋陽 64 有島武  
くにお 邦雄 61 奔る 65 陰陽 73 退く 80 満寿二 83 眼差し 84 慶良間 今帰仁 読谷 与那  
おんみょう 郎 65 陰陽 73 退く 80 満寿二 83 眼差し 84 慶良間 今帰仁 読谷 与那  
はえばる 原 南風原 東風平 喜屋武 摩文仁 渡嘉敷 鏡水 垣花 豊見城 87 中通 89  
くぼち 凹地 93 太股 94 膝関節 96 嗚咽 99 黄昏 108 帝 候ふ 定信 悪 109  
たれ 誰 110 和泉 保昌 妻 内侍 定頼 思す 局 御簾 半ら 出づ 直衣 道真 守  
きんとう 公任 111 生野 二藤左衛門 112 銀 従者 隙 113 炭櫃 看ル 114 掛詞  
なりひら 業平 朝臣 118 画ク 為ス 先ヅ 且ニ 能ク 119 未ダ 固ヨリ 遂ニ 終  
うしな ニ 亡フ 劉向 120 従リテ 列ベテ 是レ 穴ツ 則チ 詰ル 自ヅカラ 許  
なんち ナル 若 尚ホ 122 美味い 傷ふ 崇徳 125 苗字 東雲 134 端 135 否  
ふじお 不二雄 151 生命 163 従妹 陸仁 希典 安房国 169 射す 181 昨夕 186 神  
ぼうちょう 保町 191 翌日 194 雑司が谷 豊島 197 山辺 柿本人麻呂 200 對不起  
タイバイ 207 台北 魯肉飯 213 畝傍 耳成 218 江南尉 221 故人 223 身体 224 還る  
かな 225 哀しい 227 敢へて 228 珠 惧れる 231 墮とす 237 時化 245 眼 246  
かおり 香 信濃 247 群 千曲 249 凍てる 揚雲雀 251 小豆 南郷 求道 羽羽 252  
こうや 高野 聖 253 終り 262 公房 264 未だ 271 気怠い 陽射し 煙草 276 平城  
かすが 春日 垣間見る 狩衣 信夫 陸奥 277 融 278 上達部 279 男皇子 唐土 280  
よ 抛る 281 明石 甲斐 283 田辺 284 冷かれ 歩け 286 葛飾 288 頭 低ル  
あぎな 字 289 自ヅカラ 采ル 佳ク 与ニ 此中 291 為ル 蓋フ 奈何 若 泣 292  
とう 丁 健 光輝 300 早稲田 318 対馬 324 啓 325 紅 331 四方 入水 334  
こしがや 越谷 339 歳 342 寿司

## 出典一覧表

※下記以外の教材、写真、図、地図はすべて自社作成。原則として、表記・句読点の訂正は除く。

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
①	大和三山	写真						アマナイメー ジズ 25053014663
7	手話での「ありがとう」	写真						アフロ 242924252
8	山さん	国語教材	『うたうおばけ』	177	くどうれいん	講談社	2023	(下欄参照)
	原典P177～181を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P179L14「軽くお酒を飲んだ」→「食事をした」／P179L14「三杯目のビールを飲み終える」→「食べ終える頃になって」／P180L6「その話者のまなざしを知っていたので」→削除							
10	江間章子詩碑	写真						八幡平市
13	(顔) くどうれいん	写真						朝日新聞フォ トアーカイブ P230629001023
15	雨月物語	国語教材	『みちくさ道中』	120	木内昇	集英社	2017	(下欄参照)
	原典P120～123を採録した。							
17	浅茅が宿	絵画			森田曠平			個人蔵
18	(顔) 木内昇	写真						朝日新聞フォ トアーカイブ P200316001117
22	ナイン	国語教材	『ナイン』	10	井上ひさし	講談社	1987	(下欄参照)
	原典P10～P21を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P10L1「文化放送」→「放送局」／P14L11「文化放送」→「放送局」							
24・25・ 35	ナイン	イラスト						加藤千香子
36	(顔) 井上ひさし	写真						時事通信フォ ト0008706927
38	新釈「蜘蛛の糸」	国語教材	『超短編！ 大どんでん返し Special』	9	森見登美彦	小学館	2023	(下欄参照)

	原典P9～12を採録した。							
39・42	新釈「蜘蛛の糸」	イラスト						マコカワイ
43	(顔) 森見登美彦	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P241128000192
45	蜘蛛の糸	国語教材	『芥川龍之介全集』第二卷	227	芥川龍之介	岩波書店	1977	(下欄参照)
	原典P229～P231を採録した。							
47・48	文学の窓①	イラスト						柳智之
49	萩原朔太郎とマンダリン	写真						水と緑と詩の まち前橋文学館
50	鉄	国語教材	『よいひかり』	30	三角みづ紀	ナナロク社	2016	
51	(顔) 三角みづ紀	写真						三角みづ紀
52	竹	国語教材	『萩原朔太郎』第1巻	21	萩原朔太郎	筑摩書房	1975	
53	(顔) 萩原朔太郎	写真						日本近代文学館 P0002557
54	永訣の朝	国語教材	『新校本 宮澤賢治全集』第2巻	138	宮澤賢治	筑摩書房	1995	(下欄参照)
	原典P138～P140を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P140L18～19「どうかこれが天上のアイスクリームになって／おまへとみんなとに聖き資糧をもたらずやうに」→「どうかこれが兜率の天の食に変わって／やがてはおまへとみんなとに／聖い資糧をもたらずことを」							
58	(顔) 宮澤賢治	写真						日本近代文学館 P0002873
59	『春と修羅』の表紙	写真						日本近代文学館 P0003802
59	(顔) 妹トシ	写真						林風舎
59	「永訣の朝」の原稿	写真						宮澤賢治記念館
59	羅須地人協会(岩手県)	写真						アマナイメージズ 25017000363
60	みづうみの氷は解けて…	国語教材	『島木赤彦全歌集』	304	島木赤彦	岩波書店	1986	
60	海恋し潮の遠鳴り…	国語教材	『現代の短歌』	36	与謝野晶子	講談社	1991	
60	白埴の瓶こそよけれ…	国語教材	『長塚節歌集』	132	長塚節	岩波書店	2014	

60	曼珠沙華一むら燃えて…	国語教材	『木下利玄全歌集』	171	木下利玄	岩波書店	2020	
60	曼珠沙華	写真						アフロ 21285485
61	葛の花 踏みしだかれて…	国語教材	『現代の短歌』	85、86	釈 迢空	講談社学術文庫	1991	
61	ずぶ濡れのラガー奔るを…	国語教材	『塚本邦雄歌集』現代歌人文庫①	10	塚本邦雄	国文社	1988	
61	売りにゆく柱時計が…	国語教材	『現代の短歌』	36	寺山修司	講談社学術文庫	1991	
61	たとへば君 ガサッと落葉…	国語教材	『現代の短歌』	418	河野裕子	講談社学術文庫	1991	
61	あまつぶがにはかに沁みて…	国語教材	『リリカル・アンドロイド』	132	荻原裕幸	書肆侃侃房	2020	
61	葛の花	写真						アフロ 100088051
62	線を引くページ破れる…	国語教材	『サラダ記念日』	29	俵万智	河出書房新社	1989	
62	ゴッホでもミレーでもない…	国語教材	『サイレントと犀』	21	岡野大嗣	書肆侃侃房	2014	
62	冬の駅ひとりになれば…	国語教材	『てのひらを燃やす』	9	大森静佳	KADOKAWA	2018	
63	(顔) 島木赤彦	写真						日本近代文学館P0001735
63	(顔) 与謝野晶子	写真						日本近代文学館P0003075
63	(顔) 長塚節	写真						日本近代文学館P0002435
63	(顔) 木下利玄	写真						日本近代文学館P0000758
63	(顔) 釈迢空	写真						日本近代文学館P0000872
63	(顔) 塚本邦雄	写真						塚本青史
63	(顔) 寺山修司	写真						時事通信フォト 0000628173
63	(顔) 河野裕子	写真						永田和宏

63	(顔) 萩原裕幸	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P150604001423
63	(顔) 俵万智	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P181112000255
63	(顔) 岡野大嗣	写真						岡野大嗣
63	(顔) 大森静佳	写真						大森静佳
64	『吾輩は猫である』	写真						KADOKAWA
64	『生れ出づる悩み』	写真						集英社
64	『清兵衛と瓢箪・小僧の神様』	写真						集英社
64	『河童』	写真						集英社
64	『江戸川乱歩全集 第5巻 押絵と旅する男』	写真						光文社
64	『堀辰雄』	写真						新潮社
64	『死者の奢り』	写真						新潮社
64	『吉里吉里人』 (上・中・下)	写真						新潮社
65	『69 sixty nine』	写真						集英社
65	『TUGUMI』	写真						中央公論新社
65	『火車』	写真						新潮社
65	『姑獲鳥の夏』	写真						講談社
65	『博士の愛した数式』	写真						新潮社
65	『容疑者Xの献身』	写真						文藝春秋
65	『沖で待つ』	写真						文藝春秋
65	『自選 谷川俊太郎詩集』	写真						岩波書店
65	『苦役列車』	写真						新潮社
66	『ポー傑作選2 怪奇ミステリー編 モルグ街の殺人』	写真						KADOKAWA
66	『レ・ミゼラブル』 (上・下)	写真						KADOKAWA
66	『不思議の国のアリ』	写真						KADOKAWA

	ス』							
66	『シャーロック・ホームズの冒険』	写真						KADOKAWA
66	『車輪の下』	写真						集英社
66	『星の王子さま』	写真						新潮社
66	『モモ』	写真						岩波書店
66	『アルケミスト 夢を旅した少年』	写真						KADOKAWA
66	『すべての、白いものたちの』	写真						河出書房新社
67	ヌヌマチガマ	写真						アフロ 23606889
68	山椒魚	国語教材	『井伏鱒二全集』第1巻	3	井伏鱒二	筑摩書房	1964	(下欄参照)
	原典P3～P11を採録した。							
71	すずめの稗草 (写真)	写真						NNP 0036A45278
71	すずめの稗草 (図版)	イラスト						武田真由美
74	みずすまし (アメンボ)	写真						NNP 0110A05727
80・⑤	(顔) 井伏鱒二	写真						時事通信フォト 0000625862
82	沖縄の手記から	国語教材	『足摺岬・沖縄の手記から』	75	田宮虎彦	新潮社	1980	(下欄参照)
	原典P75下段L19～P85、P138～P140上段L20を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。梗概の部分は、編集委員会で書き下ろした。／P76上段L8「沖縄の娘だとすぐわかる」→削除／P82下段L11～17「私は眠れないままに…重なっていくように思えた。」→削除／P138上段L1～3「沖縄方面根拠地隊壕には、…かくれていた。」→削除／P138上段L11～19「六名いた…整備兵たちであった。」→削除／P138下段L19～P139上段L13「だが、私たちが…聞こえて来るように思えた。」→削除							
83	カンテラ	イラスト						杉本一文
86	壕の入り口 (沖縄県伊原第一外科壕)	写真						アフロ 20596936
86	旧海軍司令部壕	写真						アフロ108607
89	ガジュマル	写真						アフロ 83906243
93	自然壕	写真						沖縄県平和祈念資料館
93	手榴弾	写真						沖縄県平和祈

								念資料館
97	モンペ	イラスト						杉本一文
98	慶良間列島	写真						アフロ3444940
101	火炎放射器	写真						沖縄県平和祈 念資料館 沖縄戦米軍記 録写真227
101	グラマン艦上戦闘機	写真						アフロ 35703075
104	(顔) 田宮虎彦	写真						時事通信フォ ト 0000915327
106	文学の窓②	イラスト						柳智之
107	清少納言	写真			上村松園			北野美術館
108	宇治拾遺物語	国語教材	新日本古典文学大系42 『宇治拾遺物語 古本説 話集』			岩波書店	1990	(下欄参照)
	原典P102L10～P103L5を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「小野篁、広才のこと」と表題を付した。／P102L13 「『さがなくて、よからんと…のろひ参らせてなり』と」→「『『さがなくてよからむ』と…呪ひ参らせて候ふなり。』と」／ P103L3「ねもじ」→「『ね』文字」							
108	小野篁	写真	「古画類聚」		松平定信編			東京国立博物 館
110	十訓抄	国語教材	新編日本古典文学全集51 『十訓抄』			小学館	1997	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P325L12～P328L3を採録し、「成方といふ笛吹き」と表題を付した。／P327L3「大 夫、笛を…」の部分、改行せずに前行に続けた。／P327L3「かまへけれ。」→「構へけれ、」／P327L11「『いかで…得てしが な』」→「いかで…得てしがな」							
111	『十訓抄』	写真						早稲田大学図 書館
112	枕草子	国語教材	新編日本古典文学全集18 『枕草子』		清少納言	小学館	1997	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「ありがたきもの」：原典P127L1～L9を採録し、「ありがたきもの」と表 題を付した。／P127L1「ありがたきもの 舅に」→「ありがたきもの、舅に」／P127L2「しろがね」→「銀（しろかね）」／P127L3 「つゆの…」で改行した。／P127L6「物語、…」で改行した／P127L8「男女…」で改行した。／「雪のいと高う降りたるを」：原典 P433L6～P434L1を採録し、「雪のいと高う降りたるを」と表題を付した。／P433L9「人々も…」で改行した。							
114・287	『小倉百人一首』	国語教材	『新編国歌大観』第5巻	933 934	角川書店		1987	

118	蛇足	国語教材	漢文大系19『戦国策正解』	26		富山房	1915	(下欄参照)
原典P26L7「予」を「子」に改めた。								
118	卮	写真						ユニフォトプレス JB-234
120	畏饅頭	国語教材	和刻本漢籍随筆集第一集『五雑組』巻十六	333	謝肇淪	汲古書院	1972	
123	ケツァール	写真						アフロ 276969521
124	隣人運	国語教材	『東京新聞』（夕刊） 2024年4月27日		絲山秋子	中日新聞社	2024	(下欄参照)
「文化」欄（「月刊掌編小説」）の全文を採録した。								
133	(顔) 絲山秋子	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P170914000428
134	コンビニの母	国語教材	『できない相談』	18	森絵都	筑摩書房	2019	(下欄参照)
原典P18～P22を採録した。								
139	(顔) 森絵都	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P190712001341
141	フェルメール「牛乳を注ぐ女」	写真						アフロ 14584744
142	光の窓	国語教材	『幼年 水の町』	52	小池昌代	松岳社	2017	(下欄参照)
原典P52～56を採録した。								
144	パラフィン紙の包装	写真						アフロ 66563343
145	フェルメール「手紙を書く婦人と召使い」	写真						アフロ 66320914
146	フェルメール「絵画芸術」	写真						Google アートプロジェクト
147	フェルメール「真珠の耳飾りの少女」	写真						Google アートプロジェクト
148	(顔) 小池昌代	写真						時事通信フォト05326447
150	生きていくための呪文	国語教材	『レモン石鹸泡立てる』	187	東直子	共和国	2022	(下欄参照)

原典P187～192を採録した。								
155	(顔) 東直子	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P141219000536
158	羅生門	国語教材	『芥川龍之介全集』第1巻	127	芥川龍之介	岩波書店	1977	(下欄参照)
原典P129L3・4を採録した。								
159	渡月橋	写真						アフロ 282040845
159	富士山と新幹線	写真						アフロ 276789507
159	クラーク博士像	写真						アフロ 207066638
161	漱石の円熟時代(岡本一平「漱石八態」より)	写真						川崎市岡本太郎美術館
162	ころ	国語教材	『漱石全集』第6巻	246	夏目漱石	岩波書店	1966	(下欄参照)
原典P246L4～P268L9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／節を示す数字は全て削除した。／P256L11「悲しい事に私は片眼でした。」→削除。〔教材採録部分の前後のあらすじは、編集委員会の書き下ろし。〕								
162	鎌倉の海水浴場	写真						アフロ5224516
181	明治末の本郷三丁目付近(明治30年代)	写真						毎日フォトバンク(毎日新聞社) P19950726dd1d d1phj714000
186	地図	地図						坂口徹
194	『ころ』の原稿(一)、(二)	写真						岩波書店
195・⑥	(顔) 夏目漱石	写真						日本近代文学館P0002499
197	柿本人麻呂歌碑	写真						アマナイメー ジズ 22456006317
198	国語から旅立って	国語教材	『高校生と考える日本の論点2020-30』	248	温又柔	左右社	2020	(下欄参照)
原典P251～P258を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P253L3小見出し「ひらがなの出会い」→削除。／P255L12								

	小見出し「自分だけの言葉を捕まえる」→削除。／P256L18「キモい」→「ヤバい」／P256L19「キモいのか」→「ヤバいのか」／P257L7「ひとの言葉」→「他人の言葉」							
204	多言語表示の看板	写真						アフロ 104919854
207	(顔) 温又柔	写真						温又柔
209	書かれた風景の中へ	国語教材	『読書のすすめ 第10集』	66	リービ英雄	岩波書店	2005	(下欄参照)
	原典P68L9～P73を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P68L10「西洋文学をめぐる諸定説を知らなかったが、もちろん、日本文学についての常識は、誰にも教わったこともなく」→「西洋文学をめぐる諸定説も知らなかったが、もちろん、日本文学についての常識も、だれにも教わったことはなく」／P69L6「母語においては…可視的に意識しながら、」→削除／P70L8「ダブリンでもなくパリでもない、ミシシッピーからかぎりなく遠い、」→削除／P70L11「坂道の角近くに」→「坂道の角近くの」／P71L2「奈良の日吉館に一夜泊して」→「奈良の旅館に一夜泊して」／P71L3「岩波文庫の」→「文庫本の」／P71L4「岩波文庫の」→「文庫本の」／P71L6「二年間の日本語の読み書きを」→「二年間日本語の読み書きを」／P72L11「のどかな風景は」→「のどかな風景に」							
213	大和 三山	写真						アマナイメー ジズ 10922006901
214	(顔) リービ英雄	写真						朝日新聞フォ トアーカイブ P170221000355
217	中島敦の原稿 (『弟子』の冒頭部分)	写真						神奈川近代文 学館
218	山月記	国語教材	『中島敦全集』第1巻	153	中島 敦	筑摩書房	1976	(下欄参照)
	原典P153～P160を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P157の七言律詩に書き下し文を加えた。							
221	山月記	イラスト						原田維夫
232・⑤	(顔) 中島敦	写真						横浜学園 中島 敦の会
234	窓	国語教材	『マリアさま』	143	いしいしんじ	リトルモア	2019	(下欄参照)
	原典P143～P147を採録した。							
234	車窓からの風景	写真						アマナイメー ジズ 28144087724
239	(顔) いしいしんじ	写真						朝日新聞フォ トアーカイブ P160519000560
240	文学の窓③	イラスト						柳智之
241	小諸城址三の門	写真						アフロ

								26021212
242	夏の姿	国語教材	『木坂涼詩集』	91	木坂 涼	思潮社	1997	
243	(顔) 木坂涼	写真						木坂涼
244	帰途	国語教材	『田村隆一全詩集』	70	田村隆一	思潮社	2000	
245	(顔) 田村隆一	写真						時事通信フォト0000868392
246	小諸なる古城のほとり	国語教材	『藤村全集』第一巻	237	島崎藤村	筑摩書房	1966	
247	(顔) 島崎藤村	写真						日本近代文学館P0001756
248	曳かれる牛が辻でずつと…	国語教材	『碧梧桐俳句集』	274	河東碧梧桐	岩波書店	2011	
248	咳をしても…	国語教材	『尾崎放哉句集』	91	尾崎放哉	岩波文庫	2007	
248	花衣ぬぐやまつはる…	国語教材	『現代の俳句』	71	杉田久女	講談社	1993	
248	金剛の露ひとつぶや…	国語教材	『現代の俳句』	134	川端茅舎	講談社	1993	
249	水枕ガバリと寒い…	国語教材	『現代の俳句』	144	西東三鬼	講談社	1993	
249	みづみづしセロリを噛めば…	国語教材	『日野草城全句集』	377	日野草城	沖積舎	1996	
249	鮫鱈の骨まで凍てて…	国語教材	『現代の俳句』	209	加藤楸邨	講談社	1993	
249	白葱のひかりの棒を…	国語教材	『現代の俳句』	470	黒田杏子	講談社	1993	
249	揚雲雀空のまん中…	国語教材	『静かな水』	15	正木ゆう子	春秋社	2002	
249	鮫鱈	写真						アフロ 108428128
249	揚雲雀	写真						アフロ 148165232
250	うごかざる一点がわれ…	国語教材	『名句の所以』	35	石田郷子	毎日新聞出版	2018	
250	菜の花を挿すか茹でるか…	国語教材	『蒙古斑』	40	權未知子	角川書店	2000	
250	秋風や結び目固き…	国語教材	『馥郁』	16	日下野由季	ふらんす堂	2018	
251	(顔) 河東碧梧桐	写真						日本近代文学館P0001224
251	(顔) 尾崎放哉	写真						日本近代文学館P0000797
251	(顔) 杉田久女	写真						日本近代文学館P0003165
251	(顔) 川端茅舎	写真						日本近代文学

								館P0000998
251	(顔) 西東三鬼	写真						日本近代文学館P0003428
251	(顔) 日野草城	写真						朝日新聞フォトアーカイブP120306247158
251	(顔) 加藤楸邨	写真						朝日新聞フォトアーカイブP110405197400
251	(顔) 黒田杏子	写真						朝日新聞フォトアーカイブP100426000745
251	(顔) 正木ゆう子	写真						朝日新聞フォトアーカイブP170626000295
251	(顔) 石田郷子	写真						石田郷子
251	(顔) 權未知子	写真						毎日新聞社P20180402dd1dd1phj242000
251	(顔) 日下野由季	写真						日下野由季
252	『舞姫・うたかたの記』	写真						KADOKAWA
252	『にぎりえ・たけくらべ』							新潮社
252	『高野聖』							KADOKAWA
252	『みだれ髪』							新潮社
252	『破戒』							新潮社
252	『蒲団・重右衛門の最後』							新潮社
252	『春琴抄』							新潮社
252	『雪国』							KADOKAWA
253	『人間失格』							KADOKAWA
253	『野火』							新潮社

253	『金閣寺』							新潮社
253	『黒い雨』							新潮社
253	『沈黙』							新潮社
253	『箱男』							新潮社
253	『世界の終りとハード ボイルド・ワンダーラ ンド』（上・下）							新潮社
253	『同志少女よ、敵を撃 て』							早川書房
253	『恐竜時代が終わらな い』							書肆侃侃房
254	『新訳 マクベス』							KADOKAWA
254	『罪と罰』							KADOKAWA
254	『アンナ・カレーニ ナ』（上・中・下）							新潮社
254	『人形の家』							新潮社
254	『変身』							角川文庫
254	『阿Q正伝・狂人日記 他十二篇』							岩波書店
254	『武器よさらば』							新潮社
254	『異邦人』							新潮社
254	『わたしを離さない で』							早川書房
255	指示を出す安部公房	写真						朝日新聞フォ トアーカイブ P190814000850

256	鞆	国語教材	『笑う月』	129	安部公房	新潮社	1984	(下欄参照)
原典P129～P136を採録した。								
262	(顔) 安部公房	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P111004168358
264	あの朝	国語教材	『ことばのポトラック』	334	角田光代	春風社	2012	(下欄参照)
原典P334～P341を採録した。								
265・272	あの朝	イラスト						砂糖ゆき
272	(顔) 角田光代	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P210115000619
274	文学の窓③	イラスト						柳智之
275	「霸王別姫」(京劇)	写真						ユニフォトプレス 41161622
276	伊勢物語	国語教材	新日本古典文学大系17 『竹取物語 伊勢物語』			岩波書店	1997	(下欄参照)
原典P79L2～P80 L4を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「初冠」と表題を付した。／P80L1「思けん、」→「思ひけむ。」								
278	源氏物語	国語教材	新編日本古典文学全集20 『源氏物語1』		紫式部	小学館	1994	(下欄参照)
原典P17L2～P19L3を採録し、指導上の配慮により、小見出しおよび小書きを削除するとともに、以下の修正を行った。／「光源氏の誕生」と表題を付した。／P17L11「上達部、上人なども…」で改行した。／本文の主語について、適宜本文の傍らに小書きで示した。								
279	玉の男皇子	写真	「源氏物語図屏風」		狩野氏信			個人蔵／堺市博物館
281	紫式部	写真			土佐光起			石山寺
282	与謝野晶子 訳	国語教材	『全訳源氏物語一 新装版』		与謝野晶子	KADOKAWA	2008	原典P7L1～L2を採録した。
282	谷崎潤一郎 訳	国語教材	『潤一郎訳 源氏物語一巻一』		谷崎潤一郎	中央公論新社	1973	原典P19L1～L3を採録した。
282	角田光代 訳	国語教材	『源氏物語 上』		角田光代	河出書房新社	2017	原典P7L1～L5を採録した。
283	『あさきゆめみし』	写真						講談社
283	『はやげん！はやよみ源氏物語』	写真						新書館

283	『大搦源氏物語 まろ、ん?』	写真						幻冬舎
284	梁塵秘抄	国語教材	『梁塵秘抄 閑吟集 狂言歌謡』新日本古典文学大系56			岩波書店	1993	原典P96L9～97L2を採録した。
287	閑吟集	国語教材	『梁塵秘抄 閑吟集 狂言歌謡』新日本古典文学大系56			岩波書店	1993	原典P246L1を採録した。
287	君のため空白なりし…	国語教材	『サラダ記念日』	63	俵 万智	河出文庫	1989	
288	静夜思	国語教材	漢文大系2『箋註唐詩選』	5	李白	富山房	1910	
289	飲酒	国語教材	四部叢刊『箋注陶淵明集』	30	陶潜	上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	連作二十首のうち、第五首を採録した。／原典P30L8「採」を「采」に改めた。							
290	四面楚歌	国語教材	『史記会注考証』巻七 項羽本紀	150	司馬遷	芸文印書館	1972	
292	『はなとゆめ』	写真						KADOKAWA
292	『阿蘭陀西鶴』	写真						講談社
292	『仏果を得ず』	写真						双葉社
292	『小説十八史略 一』	写真						講談社
292	『史記』	写真						小学館
292	『李陵・山月記 弟子・名人伝』	写真						KADOKAWA
292	『平安女子の楽しい! 生活』	写真						岩波書店
292	『三国志(演義から正史、そして史実へ)』	写真						中央公論新社
293	サンクトペテルブルグ	写真						アフロ 20979103
294	空っぽの瓶	国語教材	『早稲田文学』	21	多和田葉子	早稲田文学会	2017	(下欄参照)
	原典P21～P23を採録した。							
300	(顔) 多和田葉子	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P181115000667
300	(顔) 松永美穂	写真						松永美穂
302	ほんとうはあのとき…	国語教材	『文化の脱走兵』	47	奈倉有里	講談社	2024	(下欄参照)

	...							
	原典P47～P55を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P52L3「前回書いた、祖父母がドンバスにいるモスクワの友人マルーシャがくれた笑顔のスタンプもそうだった。」→削除							
310	(顔) 奈倉有里	写真						奈倉有里
313	教室	写真						アフロ 275678547
313	運動会イメージ	写真						アフロ 194987684
313	桜と学校	写真						アフロ 24395169
313	パイプ椅子	写真						アフロ 190086347
315	斜陽館	写真						アフロ 38239601
316	葉桜と魔笛	国語教材	『太宰治全集』3	214	太宰治	筑摩書房	1998	(下欄参照)
	原典P214～P222を採録した。							
325	太宰筆跡「待ち待ちて…」	写真						津島園子
329	(顔) 太宰治	写真						日本近代文学館P0002246
331	弘前高校時代	写真						日本近代文学館P2197
331	銀座のバーにて	写真						林義勝
331	井伏鱒二との写真	写真						日本近代文学館P0002218
331	玉川上水	写真						朝日新聞フォトアーカイブ P110313104538
332	最後のドッジボール	国語教材	『恐竜時代が終わらない』	159	山野辺太郎	書肆侃侃房	2024	(下欄参照)
	原典P159～P177を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P166L11「四十」→「四十代」							
⑤	「山月記」冒頭(古譚)	写真						日本近代文学館P0003392
⑤	パラオ	写真						アフロ8512089
⑤	「山椒魚」冒頭	写真						日本近代文学館P0004096

⑤	原爆ドーム	写真						アフロ 280133438
⑥	雑司が谷の墓地	写真						アフロ 110131893
⑥	『こころ』初版本表紙	写真						日本近代文学 館P0010687
⑥	不忍池	写真						アフロ 23400889
⑥	三四郎池	写真						アフロ 116502005
⑥	漱石の写真（牛込区 （現新宿区）早稲田南 町 自宅）	写真						日本近代文学 館P0002504

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前口絵③	URL	自社	自社ページURL	コンテンツ一覧	別紙1添付
		二次元コード	自社	同上	同上	
2	8	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙2添付
3	15	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙3添付
4	22	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙3添付
5	38 46	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ) 蜘蛛の糸(補足資料)	別紙4添付
6	54	二次元コード	自社	自社ページURL	作家紹介 宮澤賢治(動画)	別紙5添付
7	60	二次元コード	自社	自社ページURL	作家紹介 与謝野晶子(動画)	別紙6添付
8	68	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 山椒魚(音声) 資料映像 山椒魚(動画) 漢字と語彙(クイズ)	別紙7添付
9	82	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 沖縄の手記から(音声) 漢字と語彙(クイズ)	別紙8添付

10	107	二次元コード	自社	自社ページURL	品詞分類表(シミュレーション) 品詞分類表(ワークシート) 動詞活用表(シミュレーション) 動詞活用表(ワークシート) 形容詞活用表(シミュレーション) 形容詞活用表(ワークシート) 形容動詞活用表(シミュレーション) 形容動詞活用表(ワークシート) 助動詞活用表(シミュレーション) 助動詞活用表(ワークシート) 助詞一覧表(ワークシート) やってみよう 読み順(シミュレーション) 書き下し文で平仮名にする字(補足資料) 再読文字(補足資料)	別紙9、10、11 添付
11	110	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 大江山の歌(音声)	別紙12添付
12	124	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙12添付
13	134	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙13添付
14	142	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙13添付
15	150	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙14添付
16	162	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 ころも(音声) 作家紹介 夏目漱石(動画) 漢字と語彙(クイズ)	別紙15添付
17	198	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙16添付

18	209	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙16添付
19	218	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 山月記(音声) 活動のポイント(動画)	別紙17添付
20	234	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙17添付
21	256	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙18添付
22	264	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙18添付
23	275	二次元コード	自社	自社ページURL	品詞分類表(シミュレーション) 品詞分類表(ワークシート) 動詞活用表(シミュレーション) 動詞活用表(ワークシート) 形容詞活用表(シミュレーション) 形容詞活用表(ワークシート) 形容動詞活用表(シミュレーション) 形容動詞活用表(ワークシート) 助動詞活用表(シミュレーション) 助動詞活用表(ワークシート) 助詞一覧表(ワークシート) やってみよう 読み順(シミュレーション) 書き下し文で平仮名にする字(補足資料) 再読文字(補足資料)	別紙19添付
24	276	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 初冠(音声) 資料映像 伊勢物語(動画)	別紙20添付
25	278	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 光源氏の誕生(音声) 資料映像 源氏物語(動画) 源氏物語の登場人物(補足資料)	別紙21添付

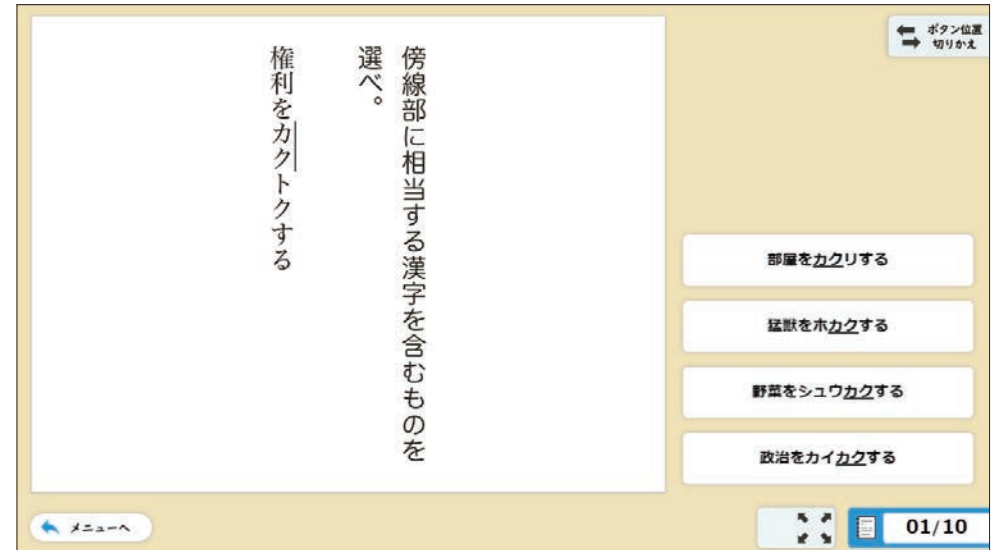
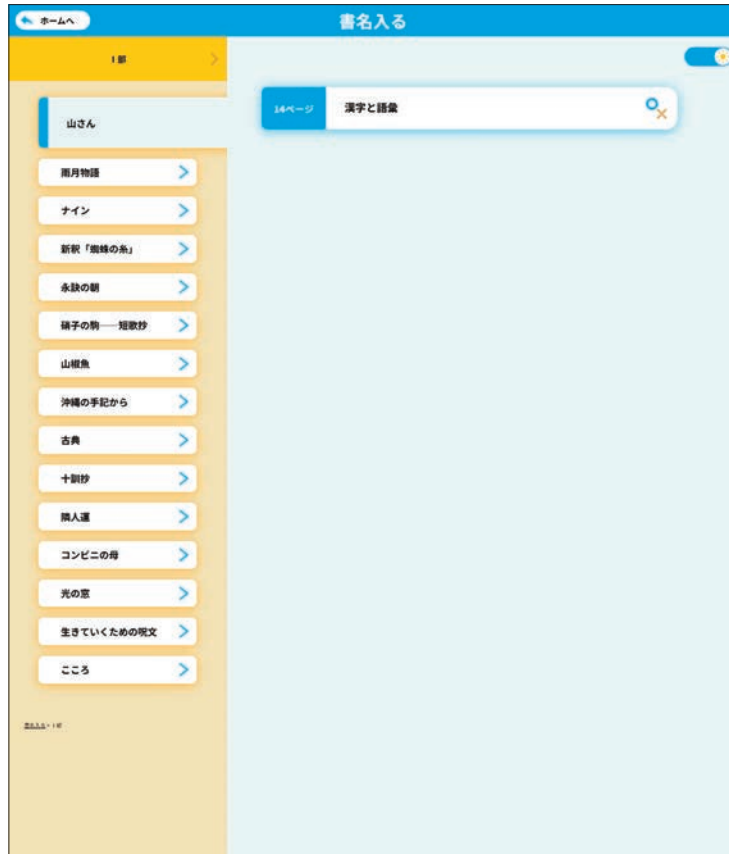
26	288	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 静夜思(書き下し文・中国語)	別紙22添付
27	290	二次元 コード	自社	自社ページURL	資料映像 司馬遷と史記(動画)	別紙23添付
28	294	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙24添付
29	302	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙24添付
30	316	二次元 コード	自社	自社ページURL	作家紹介 太宰治(動画) 漢字と語彙(クイズ)	別紙25添付
31	332	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙26添付

番号 1



コンテンツ一覧

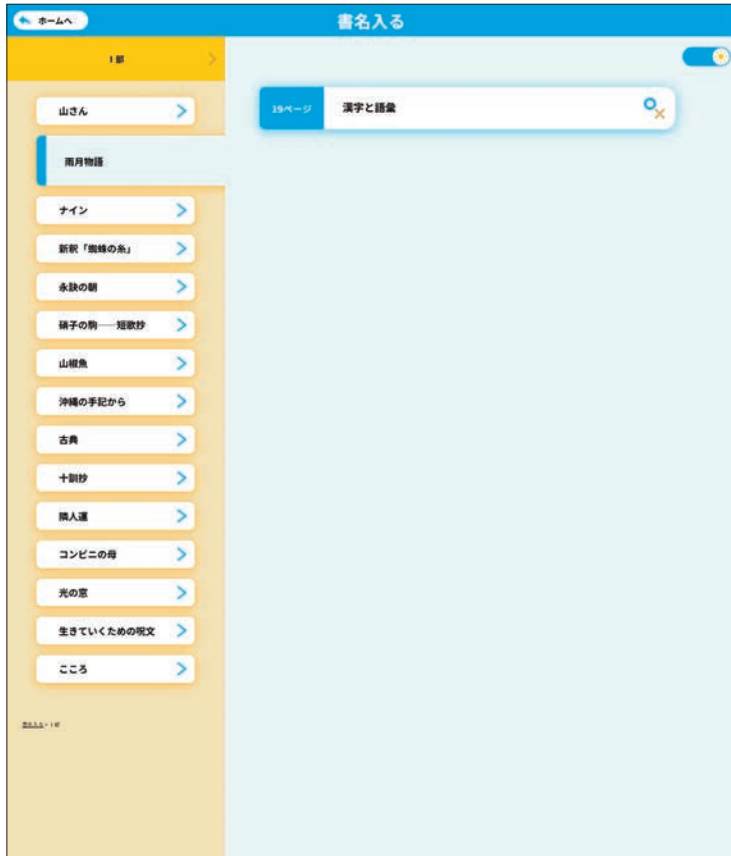
番号 2



14ページ 漢字と語彙「クイズ」

\* 全ての「漢字と語彙 [クイズ]」は同じ仕様であるため、以降のハイライト画面は割愛する。

番号 3

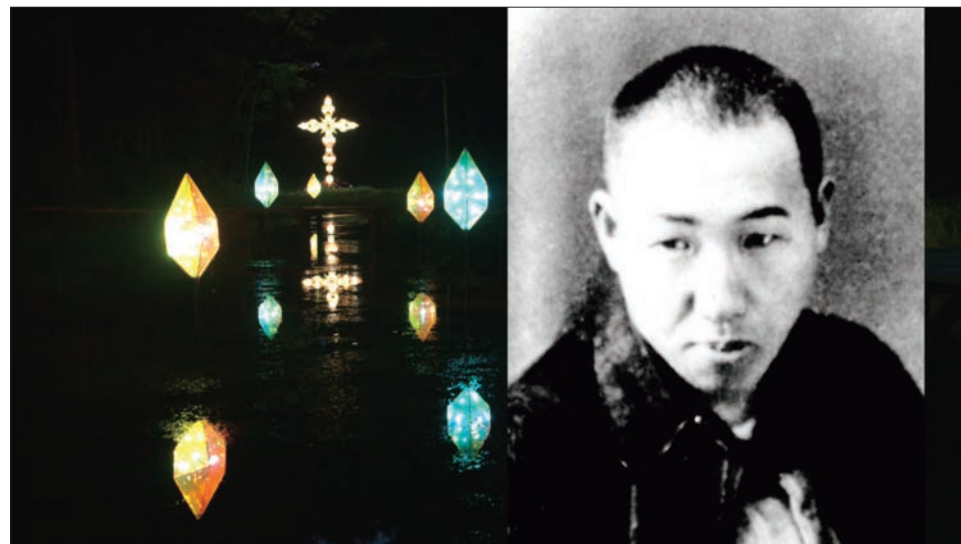


番号 4





番号 6



58ページ 作家紹介 宮澤賢治 [動画]

番号 7



63ページ 作家紹介 与謝野晶子「動画」

番号 8



68ページ 朗読 山椒魚 [音声]

\*全ての「朗読 [音声]」は同じ仕様であるため、以降のハイライト画面は割愛する。



68ページ 資料映像 山椒魚 [動画]

番号 9



番号 10

Home

1冊

- 山さん
- 雨月物語
- ナイン
- 新釈「源氏物語」
- 永訣の朝
- 椅子の物——短歌抄
- 山椒魚
- 沖繩の手記から
- 古典
- 十訓抄
- 識人選
- コンビニの母
- 光の窓
- 生きていくための呪文
- こころ

107ページ 品詞分類表

107ページ 品詞分類表

107ページ 動詞活用表

107ページ 動詞活用表

107ページ 形容詞活用表

107ページ 形容詞活用表

107ページ 形容詞活用表

107ページ 形容動詞活用表

107ページ 形容動詞活用表

107ページ 助動詞活用表

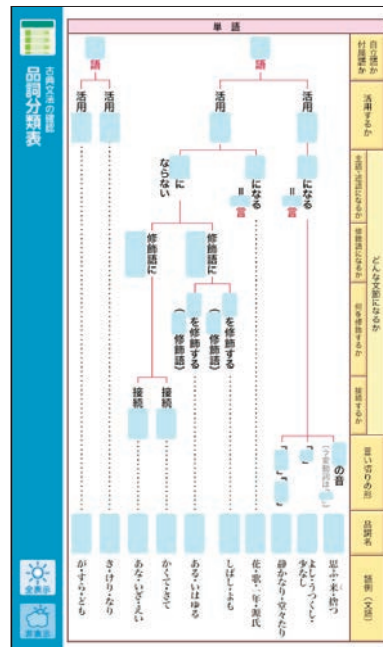
107ページ 助動詞活用表

107ページ 助詞一覧表

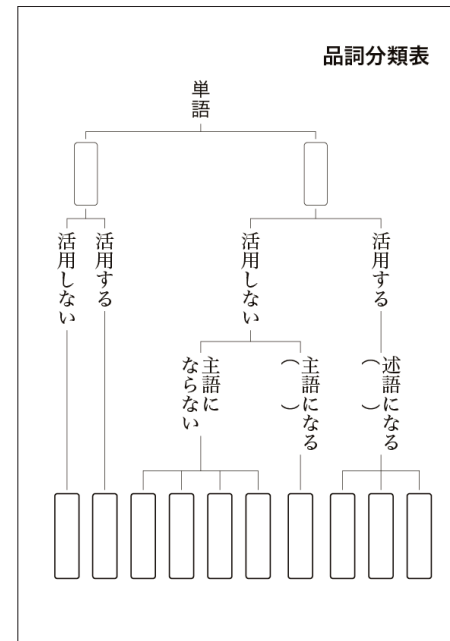
107ページ やってみよう 読み順

107ページ 書き下し文で平仮名にする字

107ページ 再読文字



107 ページ 品詞分類表「シミュレーション」



107 ページ 品詞分類表「ワークシート」

動詞活用表

下に換く主な語	蹴る	見る	眺む	過ぐ	言ふ	活用の種類	例語
バズ						変形形	語幹
タリ						連用形	語幹
タリ						終止形	語尾
タリ						連体形	語尾
タリ						已然形	語尾
タリ						命令形	語尾
タリ						活用の際	「現代語」 「古典語の活用」

107 ページ 動詞活用表「シミュレーション」

動詞活用表

下に換く主な語	ラ行変格活用	ナ行変格活用	サ行変格活用	カ行変格活用	下二段活用	上二段活用	下二段活用	上二段活用	四段活用	活用の種類	例語
										語幹	
										終止形	
										連体形	
										終止形	
										連体形	
										已然形	
										命令形	

107 ページ 動詞活用表「ワークシート」



書き下し文で平仮名にする字

助動詞							字	読み
(所・為)	見・被	可	也	為	不(弗)	教・遣		
らる	る	べし	なり	たり	ず	しむ	ごとし	字
られ	れ	べから	なり	たり	ず	しめ	ごとく	活用形
られ	れ	べかり	なり	たり	ず	しめ	ごとく	未然形 連用形
らる	る	べし	なり	たり	ず	しむ	ごとし	終止形 連体形
らる	る	べかる	なる	たる	ざる	しむる	ごとき	已然形 命令形
られ	る	べけれ	なれ	たれ	ざれ	しむれ	○	○
られよ	れよ	○	なれ	たれ	ざれ	しめよ	○	○

※反語形で用いられる古い活用形。

助詞

助詞							字	読み		
与	自・従・由	也(乎)	者	而已矣(而已)	耳・已・爾	之			与	夫・哉
より	より	や	は	のみ	の	と	かな	か・や	か・や	読み
より	より	(呼びかけ強調)							(疑問・反語)	

107 ページ 書き下し文で平仮名にする字 「補足資料」

蓋	須	宜	(色) 猶	应当	且 将	未	字
(蓋) 蓋 かか(のがよ) 相手に促す表現。「何不 と同じ」	なほ(ノ)：(未然形)ズル 強い必要性(せむとも)す る必要がある	よるシク(終止形)ベシ 適當・勸誘(…のがよ)	なほ(ノ)：(ガ)トシ 比況(ちよつと)のようだ ちよつとと同じである	まじ(ニ)：(終止形)ベシ 當然(当然)：べきである 推量(きこつ)：である	まじ(ニ)：(未然形)ント す 未(来)・将(来) (今にも)しよ うとする。…になろうとす る	いま(ク)：(未然形)ず 否定(まだ)ない	読み方 意味

再読文字の種類と用法

**再読文字**

将来 将(来) 来(今にも)しよ  
うとする。…になろうとす  
る

未(来) 未(来) 未(来) 未(来)  
まだ来たらず。

特(に)来たらんとす。

再読文字とは、一つの漢字で最初に日本語の副詞的な読みをし、さらにも一度、助動詞的(動詞的)な読みをするものである。書き下し文では、最初の読みはそのま漢字を用い、二度目の読みは平仮名にする。再読文字の返り点は、二度目に読むときのために付けていることに注意する。

**用例集**

1 人生得意須(ス)尽(ル)歡(ム)

2 惟(ト)仁(者)宜(シ)在(ル)高(位)

3 過(シ)猶(ト)不(及)也

4 君(子)自(己)故(郷)来(リ)必(ズ)知(ル)故(郷)事(ヲ)

5 及(レ)時(ニ)当(ル)勉(メ)勵(ス)歳(月)不(待)人(ヲ)

6 将(レ)限(ル)其(ノ)食(ヲ)

7 未(レ)聞(ク)好(ム)学(者)也

番号 11



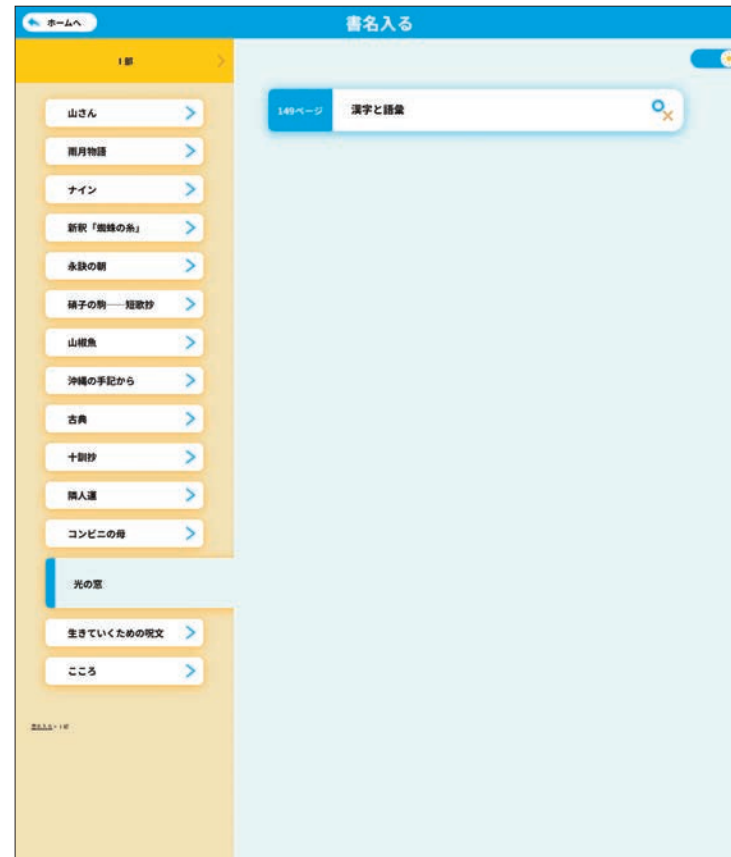
番号 12



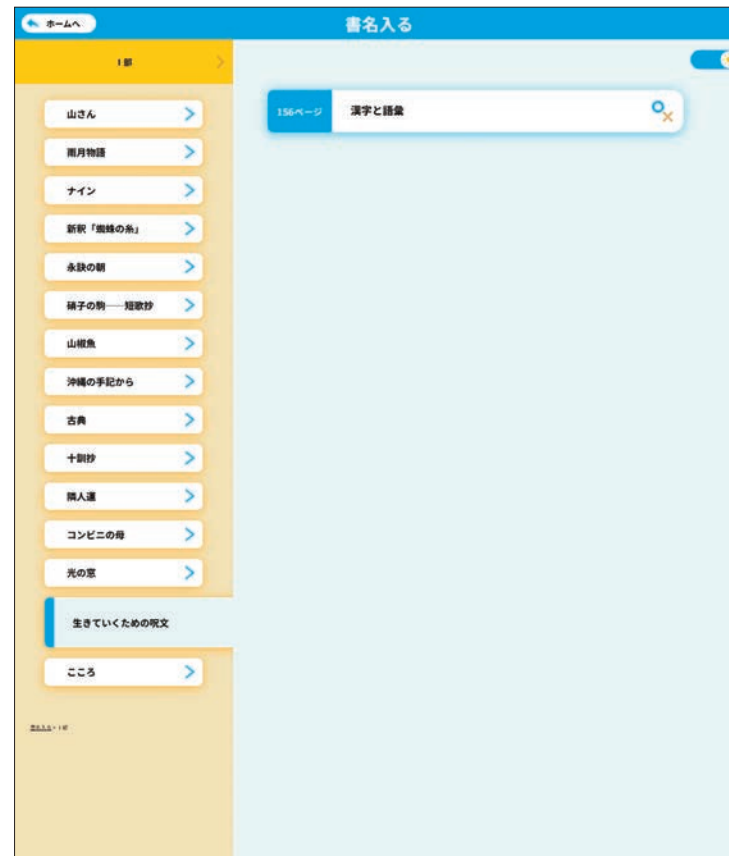
番号 13



番号 14



番号 15

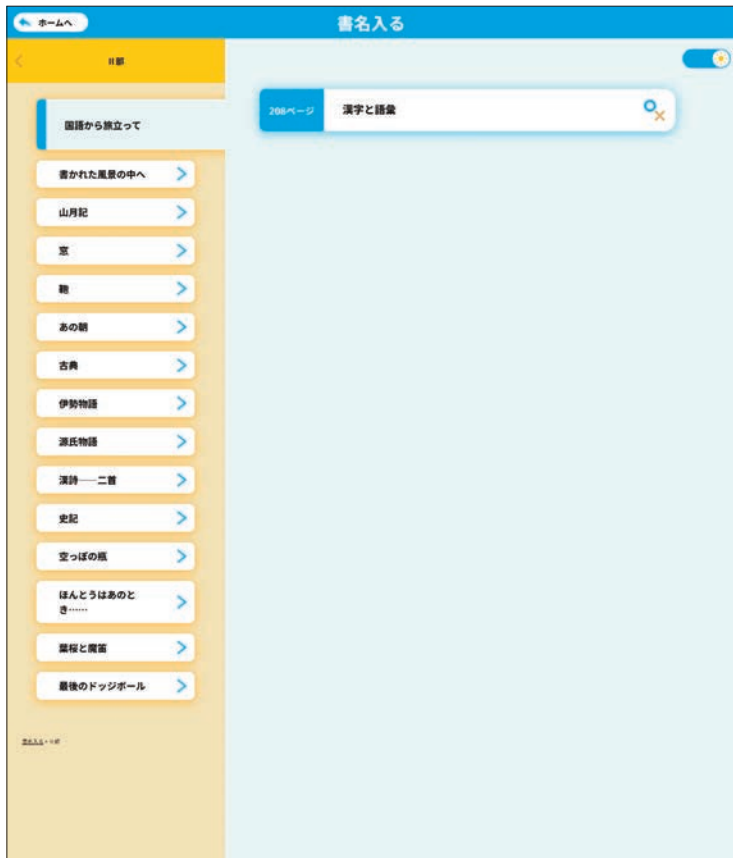


番号 16



195 ページ 作家紹介 夏目漱石 [動画]

番号 17



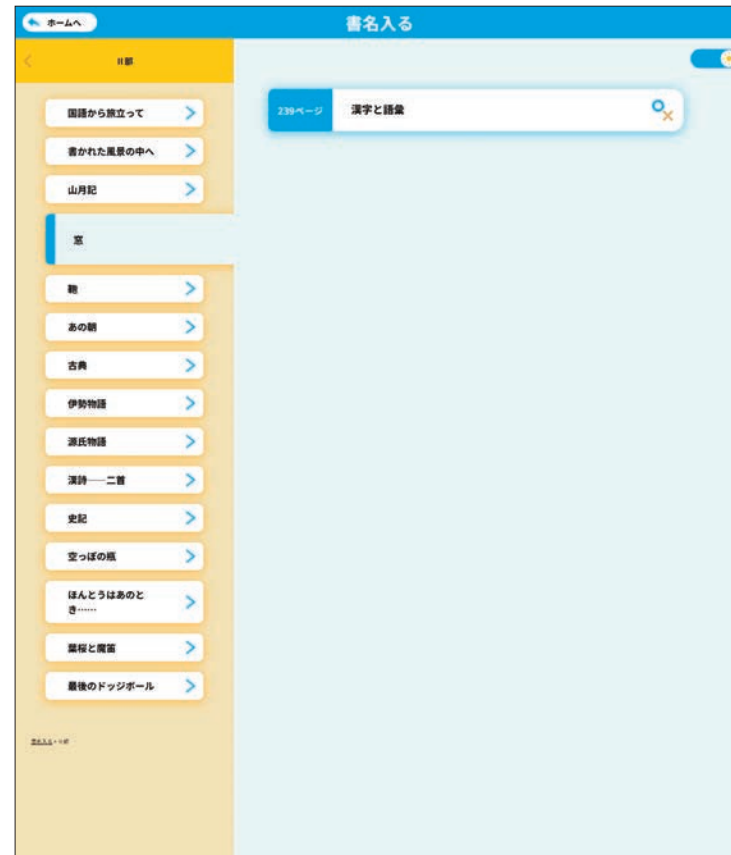
番号 18



番号 19



番号 20



番号 21



番号 22

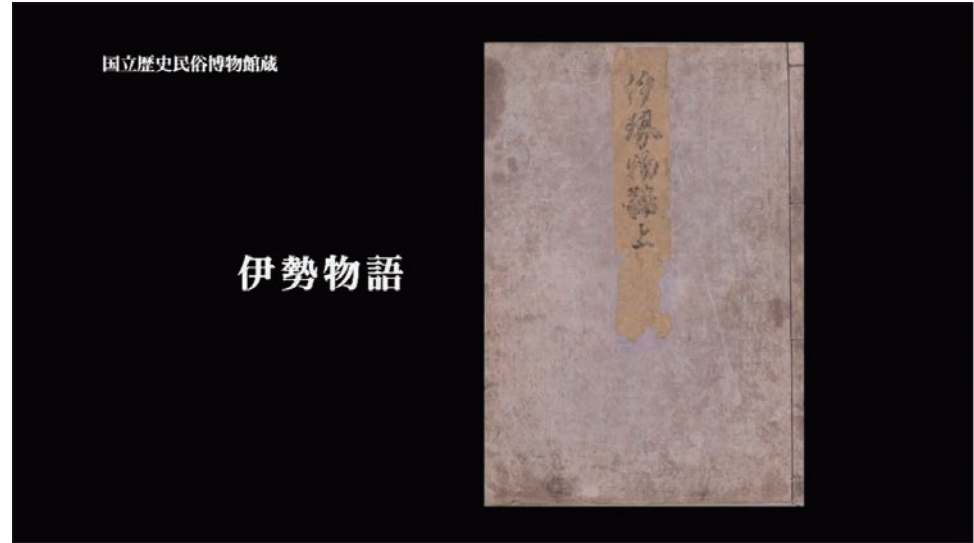


番号 23



\* 番号 10 で掲出したハイライト画面と同一のコンテンツであるため、ハイライト画面は割愛する。

番号 24



276  
ページ  
資料映像  
伊勢物語  
「動画」



番号 26



番号 27

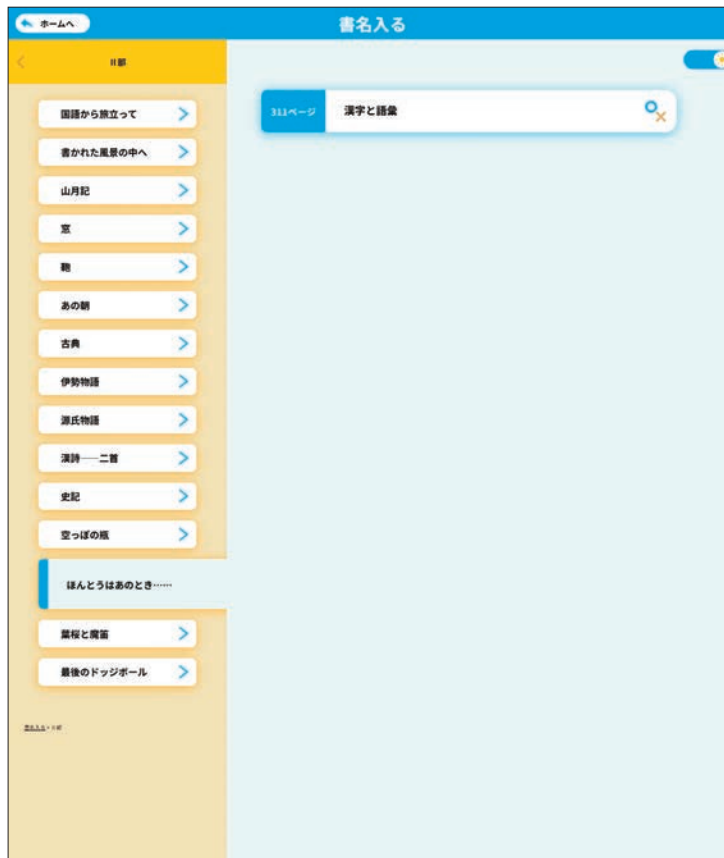


290 ページ 資料映像 司馬遷と史記 [動画]

番号 28



番号 29



番号 30



329  
ページ  
作家紹介  
太宰治  
「動画」

太宰治

番号 31

